資料1－3

各団体におけるエコドライブ推進運動の取組状況について（令和7年度実績・8年度予定）

No.	団体名	令和7年度実績		令和8年度予定	
		事業名	内容	事業名	内容
①	一般財団法人 省エネルギーセンター北陸支部	―	○エコドライブを実践して、当支部関係者に勧めた。 ○時間にゆとりを持ち、ふんわりアクセルで運転することを心がけた。	―	○引き続き、当支部関係者にエコドライブの効果とポイントを周知し、実践するよう呼びかける。
②	公益財団法人 とやま環境財団	スマートムーブ推進事業	○とやま環境フェア2025会場内において、県・企業・関係団体と連携したエコドライブの周知（パネルによる啓発やエコドライブシミュレータ体験）、電気自動車、水素自動車などの展示・紹介を行った。	スマートムーブ推進事業	○とやま環境フェア2026をはじめとした環境イベントにおける周知・啓発のほか、企業・関係団体と連携した講座・説明会を開催する。 ○保護者・家庭への周知・啓発につながる環境教育（とやま環境チャレンジ10、はじめてのエコライフ教室など）を推進する。
③	富山県環境保健衛生連合会	「エコドライブ宣言」の普及啓発推進	○地球温暖化防止に向けて、年度の重点事業に位置づけ、「エコドライブ宣言」の推進を図った。 ○小中学生対象に実施している「地球温暖化防止活動に関するポスター・壁新聞募集」のテーマに「エコドライブ」を入れ募集し、若い世代から「エコドライブ」に関する啓発活動に取り組んだ。 ○役員がエコドライブに関する啓発事業等に参加し、研修した。	「エコドライブ宣言」の普及啓発推進	○地球温暖化防止に向けて、年度の重点事業に位置づけ、「エコドライブ宣言」の推進を図る。 ○小中学生対象に実施している「地球温暖化防止活動に関するポスター募集」のテーマに「エコドライブ」を入れ募集し、若い世代から「エコドライブ」に関する啓発活動を推進する。 ○エコドライブに関する啓発事業等に参加し、普及推進の方策を研修する。
④	富山県環境問題懇談会	啓蒙活動	○会員各社に、『ムダなアイドリングをやめ、燃費改善と大気汚染物質の排出削減に貢献すること』に注力し、エコドライブの推進を行うよう、協力を呼びかけた。	啓蒙活動	○会員各社に富山県が進める「エコドライブ10のすすめ」の資料を配布及びURLをお知らせし、エコドライブの推進と協力を周知する。
⑤	一般社団法人 富山県産業資源循環協会	エコドライブ推進事業	○会員に対し機関誌において、協議会から発信されるエコドライブによるCO_2削減効果、エコドライブ宣言などの情報を掲載して普及啓発に努めた。	エコドライブ推進事業	○機関誌において、「エコドライブとやま推進協議会からのお知らせ」として、エコドライブの運動目標をはじめ各種事業を掲載し、会員事業所330社に対してエコドライブに関する啓発活動を推進する。
⑥	富山県市長会	エコドライブ推進事業	○「時間・心・車間距離にゆとりを持って運転すること」を心がけて、車の運転をした。	エコドライブ推進事業	○引き続き、左記の取組みを履行できるよう、所属員全員で取り組む。
⑦	一般社団法人 富山県指定自動車教習所協会	教習所卒業生等のエコドライブ宣言書の提出	○県下16校の教習所で、教習・講習を受けた者を対象にエコドライブを推進する旨の宣言書の提出を推進し、令和7年度分として、26,385人分の署名を募集した。（R7.4.1～R8.3.31） 平成26年度からの通算では、233,709人分 ○年度末で、宣言書の提出が多い（啓発推進）教習所3校に対し、総会において協会長から表彰した。	教習所卒業生等のエコドライブ宣言書の提出	○県下16校の教習所で、教習・講習を受けた者を対象にエコドライブを推進する旨の宣言書の提出を推進する。 ○年度末で、宣言書の提出が多い（啓発推進）教習所3校に対し、協会長から表彰する。
		宣言ポスターの掲示	○多くの教習所において、宣言ポスターを学科教室出入口付近や待合室など、教習生、高齢者講習受講者の目に留まる場所に掲示し、エコドライブの広報を図った。 ○一部の教習所において、エコドライブのマグネットステッカーを送迎車に貼付し、教習所がエコドライブに取組んでいることを広報した。	宣言ポスターの掲示	○継続して掲示等し、広報に努める。
		教習、講習、安全運転教室において指導	（各教習所共通） ○高齢者講習、シルバードライビングスクール開催時において、エコドライブについて説明し、安全運転及び宣言書の提出を呼びかけた。 ○各教習所の教習生及び卒業生に対し、エコドライブの方法、必要性及び安全運転への有効性を説明し、エコドライブへの参加及び宣言書の提出を呼びかけた。	教習、講習、安全運転教室において指導	（各教習所共通） ○令和7年度に行った実績を継続して行う。

No.	団体名	令和7年度実績		令和8年度予定	
		事業名	内容	事業名	内容
⑦	一般社団法人 富山県指定自動車教習所協会	企業と連携した体験型交通安全講習会の実施	（各教習所共通） 〇新入社員、安全運転管理者の講習において、エコドライブの方法や必要性、安全運転への有効性について説明し、宣言書の提出を呼びかけた。 〇企業研修の一環として、体験型安全運転講習においてエコドライブの方法を教示し、実践することにより燃料の節約だけでなく、事故防止にもつながることを説明し、エコドライブへの参加及び宣言書の提出を呼びかけた。	各種講習会の実施	（各教習所共通） 〇令和7年度に行った実績を継続して行う。
⑧	一般社団法人 富山県自動車会議所	夏の交通安全運動に伴う自動車点検整備推進運動	〇7月16日に実施された有磯海サービスエリアにおける自動車点検整備推進活動において、エコドライブ推進のマグネットステッカーを配布するなどの活動に取り組んだ。	夏・秋の交通安全運動に伴う自動車点検整備推進運動	〇同運動実施の際に、エコドライブ推進のマグネットステッカーを配布するなどの活動に取り組む。
		Toyama まるっとクルマフェスタ2025 第40回自動車なんでも無料相談	〇10月19日に「Toyama まるっとクルマフェスタ2025～第40回自動車なんでも無料相談」を開催し、関係団体による最新型自動車の展示やエコドライブ推進のマグネットステッカーを配布するなどの活動に取り組んだ。	Toyama まるっとクルマフェスタ2026 第41回自動車なんでも無料相談	〇関係機関・団体と協力して「Toyama まるっとクルマフェスタ2026～第41回自動車なんでも無料相談」を開催し、エコドライブ推進のマグネットステッカーの配布などに取り組む。
		とやま環境フェア2025	〇10月11日・12日の両日開催された同フェアに出展・参加し、エコドライブ推進の広報等を行った。	とやま環境フェア2026	〇10月24日・25日の両日開催される予定の同フェアに出展・参加し、エコドライブ推進の広報等を行う。
⑨	一般社団法人 富山県自動車整備振興会	ユーザー点検教室	〇自動車ユーザーに点検整備の必要性を理解してもらい、点検整備の実施により安全・安心して走行ができ、燃費の改善が図られること、駐車時のアイドリングストップや経済速度での走行などからなる「エコドライブ」の必要性を自覚し実践することが、大切であることなどを理解していただく取組をした。 **（県内4会場、受講者138人で実施）**	ユーザー点検教室	〇自動車ユーザーに点検整備の必要性を理解してもらい、点検整備の実施により安全・安心に走行ができ、燃費の改善が図られること、駐車時のアイドリングストップや経済速度での走行などからなる「エコドライブ」の必要性を自覚し実践することが、大切であることなどの周知啓発活動を行う。
		街頭無料点検	〇自動車ユーザーに対し、点検整備の必要性をアピールするため、県下支部・分会において無料点検を実施。定期点検実施状況を調査した。**また、点検整備の実施により、エコドライブに資することを啓発した。** **（県内4会場、点検車両数137台を実施）**	街頭無料点検	〇自動車ユーザーに対し、点検整備の必要性をアピールするため、県下支部等において、各警察署の協力を得て実施。定期点検実施状況を調査する。
		街頭検査協力 （富山運輸支局）	〇富山運輸支局が実施する街頭検査に協力し、チラシ等を配布しエコドライブ等の啓発を行った。 **（県内　9か所で実施　検査車両数1110台）**	街頭検査協力 （富山運輸支局）	〇富山運輸支局において実施中
		Toyama まるっとクルマフェスタ2025	〇自動車関係団体が主催する同フェスタに出展・参加し、エコドライブ推進の広報等を実施した。「エコドライブ宣言書の署名の実施」	Toyama まるっとクルマフェスタ2026	〇実施予定
⑩	富山県商工会議所連合会	エコドライブの推進	〇ふんわりアクセル「eスタート」、アイドリングストップ等の実践について、普及・啓発に努めた。	エコドライブの推進	〇引き続き、ふんわりアクセル「eスタート」、アイドリングストップ等の実践について、普及・啓発に努める。
⑪	富山県商工会連合会	エコドライブの推進	〇職員全員で「ふんわりアクセルeスタート」に取り組んだ。	エコドライブの推進	〇職員全員で「ふんわりアクセルeスタート」を実践するとともに普及啓発に努める。
⑫	富山県消費者協会	エシカル消費の推進拡大	〇エシカル消費（地域・環境・社会に配慮した消費行動）推進の一環として、デコ活の取組みやエコドライブの普及・啓発に努めた。	エシカル消費の推進拡大	〇エシカル消費（地域・環境・社会に配慮した消費行動）推進の一環として、デコ活の取組みやエコドライブの普及・啓発に努める。

No.	団体名	令和7年度実績		令和8年度予定	
		事業名	内容	事業名	内容
⑬	富山県タクシー協会	省エネ車両の導入促進	○環境にやさしい省エネ車両の導入 JAPAN TAXIを含む環境対応車の導入　28社　295台	省エネ車両の導入促進	○環境にやさしい省エネ車両の導入
		エコドライブの推進	○急発進・急加速の防止とエアコンの適切な温度設定への取組み及び適正な空気圧の点検によるエネルギー効率化の呼びかけを行った。	エコドライブの推進	○急発進・急加速の防止とエアコンの適切な温度設定への取組み及び適正な空気圧の点検によるエネルギー効率化の呼びかけを行っていく。
⑭	富山県町村会	―	○余裕をもってエコドライブを心がけるよう職員に啓発した。	―	○引き続き、余裕をもってエコドライブを心がけるよう職員に啓発する。
⑮	一般社団法人 富山県トラック協会	エコドライブ推進運動の実施	○エコドライブ推進運動を通年運動として実施し、「いつでもどこでも誰でもできるエコドライブ推進に努めよう」をスローガンに、パンフレットを作成して全会員事業所及び各種会議・研修会等で配布するなど、エコドライブ推進運動への積極的参加を呼びかけた。	エコドライブ推進運動の実施	○エコドライブ推進運動を通年運動として実施する。（実施中）
		グリーン経営認証取得の促進	○運輸事業者による環境対策への取組みであるエコモ財団のグリーン経営認証制度について普及促進に努めた。 富山県：75事業所	グリーン経営認証取得の促進	○協会員に対し、グリーン経営認証の取得について、普及促進に努める。
		エコドライブ関連機器等の導入助成	○低燃費タイヤ導入促進助成　（8，050本　1，610万円） ○アイドリングストップ支援機器等導入助成　（87台　582万円）	エコドライブ関連機器等の導入助成	○環境対応車導入促進助成 ○低燃費タイヤ導入促進助成 ○アイドリングストップ支援機器等導入助成 を実施
		富山県が実施する事業への協力	○環境保全活動への協力 ・エコドライブ推進事業チラシ及びポスター作成 ・断熱リフォームに関するチラシ及びポスターの作成 ・廃棄米を利用した箸の作成（400膳）	富山県が実施する事業への協力	○検討中
		環境保全活動	○ごみのポイ捨て防止を図るため車内用ゴミ袋を作成・配布した。	環境保全活動	○高速道路等でのごみのポイ捨て防止対策について啓発運動を実施する。
⑯	公益社団法人 富山県バス協会	人と環境にやさしいバス普及事業	○デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー導入助成（5,000円×6台） ○低燃費バス導入助成（100,000円×15両）	人と環境にやさしいバス普及事業	○デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー導入助成 ○低燃費車導入助成
		エコドライブ推進運動	○9月～11月を「バスの環境対策強化期間」として実施するとともに、11月を「エコドライブ強化月間」とし、会員事業者にアイドリングストップの励行等、重点実施事項の積極的な実施を呼びかけた。	エコドライブ推進運動	○9月～11月を「バスの環境対策強化期間」として実施するとともに、11月を「エコドライブ強化月間」とし、会員事業者にアイドリングストップの励行等、重点実施事項の積極的な実施を呼びかける。
⑰	富山県婦人会	エコドライブの推進	○エコバッグ持参、食品ロス削減などの環境保全活動の一環として、エコドライブの啓発活動を実施した。	エコドライブの推進	○「ふんわりアクセル」「アイドリングストップ」など、できることからエコドライブを実践
⑱	一般社団法人 日本自動車連盟富山支部	タイヤ空気圧点検	○大阪屋ショップ赤田店において、来場者を対象にタイヤ空気圧点検を実施（11月26日：参加者4名）	タイヤ空気圧点検	○JAF主催の「タイヤ空気圧点検」を商業施設等で開催予定。買物客等を対象に無料で車両のタイヤ空気圧を点検・調整し、燃費の悪化を予防する。

No.	団 体 名	令 和 7 年 度 実 績		令 和 8 年 度 予 定	
		事 業 名	内 容	事 業 名	内 容
⑲	経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部	―	○保有する公用車をすべて低公害車にしている。	―	○同左
⑳	国土交通省北陸地方整備局 富山河川国道事務所	―	○職員全体でふんわりアクセルに取り組んだ。	―	○引き続き、職員全体でふんわりアクセルに取り組んでいく。 ○公用車のエコカー（次世代自動車）への交換を行うよう必要な予算要求を行っていく。
㉑	国土交通省北陸信越運輸局 富山運輸支局	―	○エコドライブ推進月間（11月）において、職員を対象にリーフレットを配布し、エコドライブの普及・推進を図った。	エコドライブ推進事業	○「Toyama まるっとクルマフェスタ」等のイベントにおけるエコドライブの周知・広報 ○エコドライブ推進月間（11月）におけるチラシ等の掲示
㉒	環境省 中部地方環境事務所	脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」	○国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促すため、衣食住にわたる国民の将来の暮らしの全体像「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」を明らかにし、具体的なアクションを提案。次世代自動車の選択や公共交通・自転車・徒歩での移動等、自治体・企業・団体等の参加の下、脱炭素化による豊かな暮らし創りに向けた取組の展開にあわせて、周知啓発活動を行った。	脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」	○引き続き、次世代自動車の選択や公共交通・自転車・徒歩での移動等、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、デコ活アクションの周知啓発活動を行う。
㉓	富山市環境部	―	○職員を対象に「エコオフィス活動自己チェック」を実施しており、その項目の一つとして、「エコドライブ(アイドリングストップや急加速・急停止の自粛等)の実践」をもうけることで、エコドライブに対する意識を高め、実践を促した。	―	○職員を対象に「エコオフィス活動自己チェック」を実施しており、その項目の一つとして、「エコドライブ(アイドリングストップや急加速・急停止の自粛等)の実践」をもうけることで、エコドライブに対する意識を高め、実践を促す。